

各関係機関長 殿

岡山県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報の発表

病虫害発生予察特殊報第 2 号を下記のとおり発表したので送付します。

令和 2 年度病虫害発生予察特殊報第 2 号

令和 2 年 11 月 12 日
岡 山 県

1. 病虫害名 ヨコバイ科の一種（和名なし） *Singapora shinshana* (Matsumura)
2. 発生作物名 ウメ及びモモ
3. 特殊報の内容 ウメ及びモモにおけるヨコバイ科の一種の発生を初確認
4. 初発生確認月日 令和 2 年 10 月 8 日
5. 発生確認場所 岡山県南部
6. 発生状況

令和 2 年 10 月 8 日に、岡山県南部のモモ生産者から、葉が白化しヨコバイが発生しているとの情報があり、普及指導センターを通じて持ち込まれたサンプルを確認したところ、ヨコバイ科の成幼虫の寄生と脱皮殻を確認した。また、岡山県南部のウメでも類似虫の発生を確認したため、神戸植物防疫所に同定を依頼したところ、本県未発生のヨコバイ科の一種 *Singapora shinshana*(Matsumura)（和名なし）と判明した。

海外では、中国、台湾、韓国及び北朝鮮で確認されている。国内では沖縄県、和歌山県、徳島県、埼玉県、京都府、大阪府でウメでの発生が確認されており、令和 2 年度には徳島県、大阪府でモモでの発生が確認されているほか、大阪府ではスモモでも確認されている。

7. 形態

成虫の体色は黄緑色で体長は約 3～3.5mm、複眼は黒色である（図 1）。また、頭頂部に黒点がある（図 2）。

8. 生態及び被害

本種はウメ、モモ、スモモの他、リンゴ等のバラ科の果樹、サンザシ、ポポー、ポプラ等を加害することが報告されている。成幼虫が葉を吸汁し、葉が白化する（図 3）。葉裏には幼虫の脱皮殻が付着する（図 4、図 5）。激しく加害された葉は落葉するとされている。

9. 防除対策及び参考事項

- （1）本種に適用のある農薬はない。
- （2）被害葉の発見に努め、発見した場合は速やかに被害葉を除去し適切に処分する。



図1 成虫（格子は1mm角）



図2 成虫の頭頂部の黒点



図3 モモ被害葉（表）

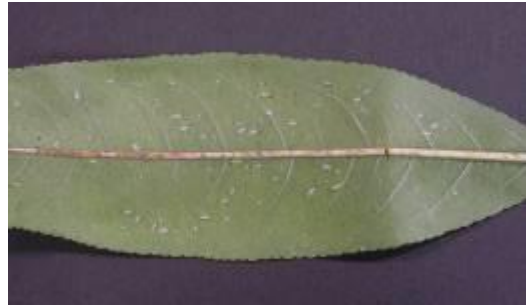


図4 モモ被害葉（裏）
成幼虫が寄生し、脱皮殻が付着



図5 ウメ被害葉（裏）
成幼虫が寄生し、脱皮殻が付着

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。アドレスは、
<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

